

中野区
議会議員

中村延子

区議会レポート

発行/民進党議員団

中野区中野4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集/中村延子事務所

中野区弥生町4-36-6-402 Phone: 080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol.17

平成29年8月号



中村延子 プロフィール

1981年 9月2日 中野区生まれ

1994年 東京文化小学校卒業

小学校5年生の冬、ブラジルで(社)CISVの11歳キャンプに1ヵ月参加し、9カ国の子どもたちと異文化交流を体験。この頃から国際社会に興味を持つ。

1997年 東京文化中学校卒業

15歳で単身アメリカに渡る決意。

2001年 米国アニーライトスクール高等部卒業

在学中、夏休みを利用し宝仙学園幼稚園でボランティアをし、卒業必須活動である50時間のコミュニティーサービスを、自分の出身地である中野で実施。1912年から続いている伝統行事のメイデーでは、高校生活での活動が評価され卒業生から1人選ばれるメイクイーンに選ばれた。

2005年 米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業

在学中、上智大学比較文化学部にてサマースクール受講。2004年 北京大学医学部へ短期留学。

2005年 民間企業に就職

株式会社ケン・コーポレーションから業務委託を受ける総務代行会社に就職。外国人賃貸住宅管理部業務の一端を担う。

2009年 衆議院議員手塚よしお秘書

地元事務所に勤務。

2010年 参議院議員蓮舫秘書

参議院選挙にて、秘書派遣で蓮舫大臣の選挙事務所スタッフとして奮闘。その延長線上で事業仕分けのお手伝いも含め、蓮舫事務所に出向。

2011年 中野区議会議員 初当選

1,530票をいただき初当選。建設委員会、震災対策特別委員会を歴任。現在は、厚生委員会、地域支え合い推進特別委員会副委員長を務める。民主党東京都連青年委員会交流局副委員長、中野区国際交流協会評議員。

2015年 中野区議会議員 2期目の当選

2,513票をいただき、2期目の当選。区民委員会委員長、少子高齢化対策特別委員会に所属。現在は、民進党議員団幹事長、総務委員会委員、少子高齢化対策特別委員会委員を務める。民進党全国青年委員会副委員長、都連青年委員会幹事長。



▲兄と2人で祖母の故郷・広島県福山市にて



▲宝仙幼稚園でのボランティア活動



▲メイデーでのスピーチ



▲北京大学に短期留学



▲2011年4月中野区議選



▲中野区議会民進党議員団

平成29年第2回定例会で一般質問を行いました



1 職員の人材育成について

Q これから10年は大きく職員が入れかわる時期。若手の職員を確実に育てていく体制が重要。区では、平成21年度からは新人サポーター制度を導入している。男女がちょうど半分という職員構成を見ても、ワークライフバランスの確立に悩む職員は女性に限らず男性職員にもいる。このような悩みも気軽に相談できるメンター制度の仕組みづくりを検討すべきでは？

A ワークライフバランスに悩んだ時は、管理職を中心に先輩や周囲の職員など職場全体でサポートできる体制を作っていきたい。まず主として管理職が役割を果たすこと、またメンター制度の改善なども含めて、さらに踏み込んだ職場全体での支援について考えていきたい。

Q 区では平成23年に「人材育成ビジョン」を示しているが、その時から状況は大きく変化している。若い職員が増加した今、育成の課題を洗い出し、方向性を位置づけたうえで、育成計画を立てるべきではないか？

A 現状や実現に向けた取組を検討の上、区全体の方針を示していきたいと考えている。それを踏まえ、育成計画を作成していきたい。

2 児童相談所の設置に向けた準備について

Q 中野区は平成33年に児童相談所の設置を予定しているが、何名の専門職が必要になり、どのような計画で人材確保や人材育成を行っていくのか？

A 児童福祉法および同施行例の規定による配置基準を基本としつつ区が設置する児童相談所として、よりきめ細やかな対応、地域の資源と連携した支援の強化、措置等の法的対応の実施を担う事の出来る体制を確保していく必要がある。こうした考え方に基づいて専門職の必要数や確保・育成策等についての検討をすすめている。

Q 中野区と同じ時期に児童相談所を設置予定の区は10区あり、平成32年度設置予定の3区と同様の支援を東京都から受けるのは難しいのではないか。

A 都へは速やかな確認作業の実施、情報提供、支援について引き続き協力を求めていく。都外の自治体との連携を含め区独自の努力も必要だと考えている。

Q 児童相談所の設置後は、(仮称)子ども総合センターがこの調整役を担う事になるが、要保護児童対策地域協議会が行う支援と児童相談所が行う介入の2枚看板を上手に使いながら、行き届いた対応をしていくべき。

A 地域資源と連携した総合的な支援と介入措置等の専門的アプローチを一体的に、また迅速的確に実施できることになると考えている。体制を着実に整備し、児童や家庭にとってより行き届いた対応をはかっていきたい。

3 妊娠・出産・子育てトータルケア事業について

Q 今年度から不妊相談支援事業が区で始まった事は一定の評価をしているが、不妊治療の助成制度創設までは至っていない。区としても助成制度の創設を具体的に進めていくべきではないか。

A 不妊相談支援事業の取り組み状況等を踏まえ、今後どのような対応をしていくべきか検討していきたい。

Q 昨年度から妊娠・出産に係る普及・啓発事業を開始し、リーフレットの作成している。作成したものは、妊娠・出産をテーマに女性のライフステージだけが描かれており、男性に関する記述がほとんどないことから、妊娠・出産・子育てを女性だけのものと印象づけてしまうものになっていないか非常に懸念している。今年度もリーフレットの配布予定だが、どのようなものを作成する予定か。

A 記載内容については、より広い視点からの考え方を反映できるよう、作成を委託している医師会との調整を行っていく。

Q 妊婦健康診査のC型肝炎とHTLV-1抗体検査は2回目以降の検査が助成対象だが、実際には1回目に受診していることが多い。超音波検査は厚生労働省が4回例示しているが、助成は1回のみ。東京都全域共通の制度ですが、制度の実情にあわせたサービスにしていきたいため、中野区も東京都下の自治体に働き掛けるべきではないか。

A 都内の妊婦健康診査の助成制度は、負担の公平性や医療機関における円滑や実施を図る観点から、東京都・特別区・医師会と協議の上、一定の統制をもって実施している。実情を踏まえどういった対応が可能となるか研究したい。

Woman Shift

WOMAN SHIFTの活動

「政策実現ができる女性議員を増やし、地方議員を女性のキャリアの選択肢の一つにすること」をミッションとしているWOMAN SHIFT。中村延子も運営メンバーとして活動しています。

若手女性地方議員の勉強会

1月31日に中野区役所にて、WOMAN SHIFT勉強会を開催。今回は、弁護士の先生2人をお招きし、ストーカー規制法の改正についてお話を伺いました。具体的な事例を用いながら、わかりやすくご説明いただきました。後半は、各自治体の予算や東京都の予算について学びあいました。



全国研修会in北陸を開催しました

4月27日および28日にWOMAN SHIFT全国研修会を金沢市および鯖江市で開催いたしました。金沢市児童相談所の視察、鯖江市JK課およびオープンデータについての視察、国会図書館の方から「政策実現するための情報収集の仕方」がテーマの講義、ワークショップを通じて政策実現するためのスキルや悩みの共有など盛りだくさんの内容となりました。全国の女性議員とつながるとても素晴らしい機会になりました。



キャリアとしての地方議員

5月9日、お茶の水女子大学大学院で学生向けのキャリア講座の講師として登壇しました！ やりがいや大変なことなど、それぞれの議員がお話しました。また、ワークショップを通じて政治家のお仕事を少しでも体験していただきました。

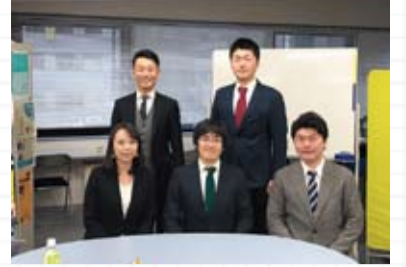


WOMAN SHIFTシスターズ開講

これまでは、若手女性議員が「やめない」ための活動が中心でしたが、若手女性議員を増やすために、若手女性議員を目指す方向への勉強会をスタートしました。7月から計5回にわたり「なりたい議員像およびなり方」を学んでいきます。

その他の活動

◆2月6日および2月10日、民進党議員団で板橋区および江戸川区の子どもへの貧困対策および学習支援について視察、お話を伺いました。格差の連鎖を断ち切ることで、生まれた環境に左右されない子どもの未来を創っていくことの大切さなど、職員からも熱く語っていただきました。



▲板橋区視察

◆2月18日、NPO法人I-CASとNPO法人Youth Createが共催する聖学院高校2年生を対象とした主権者教育の授業に浜中のりかた西東京市議と一緒に参加をさせていただきました。



▲聖学院主権者教育

◆3月8日の「国際女性デー」は、「乳がん子宮頸がん検診促進議員連盟」設立2周年記念講演およびオープンディスカッションに参加をしました。改めて、国や都と連携をし、女性特有のがん対策に取り組んでいきます。



▲いのちのミュージアム

◆3月25日、「あしながレインボーハウス」と「いのちのミュージアム」をインターン生とともに視察。改めて、虐待、自殺、交通事故、など幅広く考えさせられ、対策を政策に反映していく必要があることを思い知らされる一日となりました。



▲被災地支援

◆4月29日、Big Up石巻×民進党青年委員会×連合三多摩の被災地支援ブースのお手伝いへ。東日本大震災から形を変えて支援を続けてきましたが、引き続き連携をできることを続けていきたいと思えます。



▲母子生活支援施設

◆5月16日、山本たかし区議とともに中野区の母子生活支援施設「さつき寮」を視察。児童福祉法に定められた母子生活支援施設で、子育て支援、就労支援、学習支援、心のケア、アフターケアなどお母さんと子どもが安心して暮らせる生活の場の提供と自立支援ができるよう様々なケアをしています。児童虐待だけではなく、DVも増加傾向にある中、母子支援という観点も忘れずに取り組まなければいけない課題だと改めて感じました。



▲豊島区のまちづくり視察

◆5月16日、豊島区のまちづくりを学びに椎名町および池袋へ。商店街にある小さなお宿「シーナと一平」、長崎二丁目家庭科室、南池袋公園、豊島区役所、リノベで作られたカフェをまち歩きをしながら視察しました。



▲インターンマッチングフェア

◆7月9日、NPO法人I-CASのインターンマッチングフェアへ。7月および8月にインターン生を受け入れます。若い世代との交流や政治参加を促していくことは非常に重要だと考えており、様々な体験をしていただく予定です。

◆7月19日～21日、民進党議員団で北海道釧路町、釧路市、帯広市を視察。釧路市では「釧路市子どもたちに基礎学力の習得を保障するための教育推進に関する条例について」視察。子どもの貧困が社会問題となっている中、貧困が学力低下の原因や結果とならぬよう、連鎖を断ち切るためにも、学力向上は非常に重要な観点であり、今度も会派として取り組んでいきたいと思えます。

2年間の報告

実現

- 女性**
 - 女性特有のがん検診受診票の直接送付
 - 不妊相談支援事業の実施
- 子ども**
 - 学習支援事業の拡充
 - 3年生からの外国語活動先行実施
 - 区内大学留学生と子どもたちの交流推進
- 動物**
 - 災害時ペットの同行避難に関する愛犬・愛猫手帳への記載
- 健康**
 - 骨髄ドナーへの経済的支援
 - HPV感染のリスクに関する情報提供
- その他**
 - 窓口での多言語対応
 - 外国人留学生の就労支援
 - Twitter等SNSの平常時の発信

提案

- 女性**
 - 災害時の妊産婦支援
 - 不妊治療への助成制度創設
 - 妊娠出産に関する若年層への知識啓発
 - 妊婦検診の充実
- 子ども**
 - 長崎・広島への平和伝承事業への子ども派遣
 - 区内小中学校のALT人材確保の支援
 - 児童相談所設置に向けた準備(人材育成および確保)
- 動物**
 - 殺処分ゼロを目指した動物愛護施策
 - 教育現場での動物愛護普及啓発
- 健康**
 - 受動喫煙防止に向けた公園の禁煙化
 - 区内保育園の保育士への麻疹ワクチン接種勧奨
 - がん教育の推進
- その他**
 - 民泊の実態調査および仲介業者との連携
 - 行政評価の「成果指標」設定時における外部の意見導入
 - 職員のワークライフバランス推進